

船舶事故等調査報告書

平成22年3月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第143号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成21年10月23日 10時00分ごろ	
発生場所	長崎県佐世保港 <sup>えい</sup> 鱒ノ鼻岸壁 佐世保港弁天島灯台から真方位158°1, 100m付近（概位 北緯33°08.2′ 東経129°43.2′）	
事故等調査の経過	平成21年11月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	油送船 <sup>じょうほう</sup> 上宝丸、1,593トン	
船舶番号、船舶所有者等	133022、松田海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海） 水先人、一級水先人（佐世保水先区）	
死傷者等	なし	
損傷	本船 左舷船首部錨下方の外板がペイントはく離 岸壁 角の鉄製保護覆が破損	
事故等の経過	本船は、船長ほか9人が乗り組み、佐世保港に入港し、水先人の水先により、鱒ノ鼻岸壁に着岸するため、約010°（真方位、以下同じ。）の針路で同岸壁に接近し、岸壁の手前約80mのところ、機関を後進にかけて速力を抑えようとしたとき、後進のために船尾が左に振れて船体が岸壁に接触しそうになったため、左舷錨を投入のうえバウスラスターを使用した。間に合わず、平成21年10月23日10時00分ごろ、船首が約301°を向いて右舷船首が岸壁に接触した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮末期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、佐世保港において、鱒ノ鼻岸壁に着岸する際、十分に減速しないで着岸態勢に入ったため、岸壁に接近して機関を後進にかけても速力が制御できなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、佐世保港において、鱒ノ鼻岸壁に着岸する際、十分に減速しないで着岸態勢に入ったため、岸壁に接近して機関を後進にかけても速力が制御できず、右舷船首が岸壁に接触したことにより発生した可能性があると考えられる。	